降誕前節第7主日・(緑)

主日礼拝

2026年11月8日　10時20分～

司式:
奏楽:

≪神の招き≫

前　　奏	『神のみむねは常に行われ』J.パッヘルベル	
招　　詞	ヨハネによる福音書14章18節	
賛 美 歌	7	

≪神の言葉≫

祈　　祷	聖霊の照らしを求める祈り	
聖　　書	創世記18章1～15節	(旧約　21頁)
	ルカによる福音書3章1～14節	(新約104頁)
子ども説教		
交読詩編	105編1～11節	(123頁)
賛 美 歌	５２７	
説　　教	「 あなたのところに戻って来る 」　八木浩史牧師	
祈　　祷		
賛 美 歌	１８４	

≪感謝の応答≫

信仰告白	使徒信条	
奉　　献	献金	祈祷:献金当番
主の祈り	(週報表紙、ホームページ掲載)	

≪派　遣≫

頌　　栄	２４	
祝　　福		
報　　告		
後　　奏	『神のみわざはことごとただし』J.G.ヴァルター	

礼拝当番:　　献金当番:
音響:　　映像:

■■■　調布教会は2026年度に創立80周年を迎えました！　■■■

「 あなたのところに戻って来る」

『創世記』18章1～15節では、アブラハムのもとを訪れた三人の旅人は、来年の今頃、妻のサラに男の子が生まれると告げます。この旅人は実は主なる神でした。しかし年老いたサラは、その言葉を聞いて笑いました。人間の常識から考えれば、あり得ないことだったからです。私たちも、神の約束を聞きながら、現実を前にして信じきれず、心の中で笑ってしまうことがあります。しかし「主にとって不可能なことがあろうか」と主は語られます。そして「来年の今頃には、必ずあなたのところに戻って来る。来年の今頃には、サラに男の子が生まれている」と約束されました。神は約束を告げたままそれを忘れる方ではなく、その実現のために、再び戻って来てくださる方なのです。やがてサラの笑いは、イサクの誕生によって喜びの笑いへと変えられます。

『ルカによる福音書』3章1～14節では、洗礼者ヨハネが荒れ野において、人々に、罪の赦しを得させるために叫びました。悔い改めて、そのしるしとしての洗礼を受け、悪から遠ざかるよう人々に呼びかけたのです。悔い改めとは、神に背いている生き方をやめて、神に従う生き方をすることです。ヨハネがこう呼びかけていたのは、メシアの到来が近づいているからです。神から遣わされるメシアは、罪人を滅ぼす厳しい方だと、ヨハネは考えていたのでした。洗礼者ヨハネの活動によって、多くの人々が洗礼を受けて悔い改めをしました。しかしそれは一時的な悔い改めであり、人々から完全に罪が消えることはなかったのです。そのような罪人を完全に救うために、主イエスが来てくださるのです。主イエスの来臨によって、約束された救いが成就します。